

# 令和4年度第1回 調布市景観審議会 景観まちづくりの取組について

都市整備部都市計画課開発景観係  
令和4年11月16日(水)

# 景観まちづくりの取組について

① 景観計画の運用状況

② 市民への意識啓発， 活動支援  
～参加と協働による景観まちづくり～

③ (次期)都市計画マスタープランの策定に向けた  
「景観分野」について

# ① 景観計画の運用状況

## 景観法に基づく届出状況(令和2年度)

地域区分	新築	増築	色彩変更	その他(修繕等)	開発行為	工作物	小計(件)
深大寺通り周辺 景観形成重点地区							0
国分寺崖線 景観形成重点地区	3	2		1	3		9
水の景観形成推進地区	1			1			2
道の景観形成推進地区	4			3			7
駅の景観形成推進地区	1					1	2
農の景観形成推進地区					1		1
一般地域	3			3			6
合計(件)	12	2		8	4	1	27

▶※複数地区に該当する箇所は重複して計上しているため、小計と合計が合わない場合がある

# 景観法に基づく届出状況(令和3年度)

地域区分	新築	増築	色彩 変更	その他 (修繕等)	開発 行為	工作物	小計(件)
深大寺通り周辺 景観形成重点地区							0
国分寺崖線 景観形成重点地区	3			2	4		9
水の景観形成推進地区	1			3			4
道の景観形成推進地区	1			1			2
駅の景観形成推進地区	1			1			2
農の景観形成推進地区		1		1			2
一般地域	2	1		2			5
合計(件)	8	2	0	10	4	0	24

▶※複数地区に該当する箇所は重複して計上しているため、小計と合計が合わない場合がある

# 景観法に基づく届出状況(令和4年4月～9月)

地域区分	新築	増築	色彩変更	その他(修繕等)	開発行為	工作物	小計(件)
深大寺通り周辺 景観形成重点地区							0
国分寺崖線 景観形成重点地区				4	2		6
水の景観形成推進地区				1			1
道の景観形成推進地区	1						1
駅の景観形成推進地区							0
農の景観形成推進地区							0
一般地域	4			1			5
合計(件)	5	0	0	6	2	0	13

▶※複数地区に該当する箇所は重複して計上しているため、小計と合計が合わない場合がある

# 景観法に基づく届出状況(平成28年度～令和3年度)

地域区分	新築	増築	色彩 変更	その他 (修繕等)	開発 行為	工作物	小計(件)
深大寺通り周辺 景観形成重点地区	6		2	4			12
国分寺崖線 景観形成重点地区	23	7	9	7	31	5	82
水の景観形成推進地区	3		1	6			10
道の景観形成推進地区	17	1	5	10			33
駅の景観形成推進地区	8		6	2		1	17
農の景観形成推進地区	1	1	2	1	1		6
一般地域	9	2	16	11	1		39
合計(件)	67	11	41	41	33	6	199

国分寺崖線景観形成重点地区の82件が一番多い数字となっております。これは景観形成推進地区・一般地域は高さ20m以上、延べ面積3,000㎡以上での届出対象となりますが、国分寺崖線景観形成重点地区では高さ10m以上、延べ面積500㎡以上の建築物の新築等の行為、及び開発行為等についての届出対象となっているため、きめ細かく届出による確認が行われている結果です。

※複数地区に該当する箇所は重複して計上しているため、小計と合計が合わない場合がある

# 届出対象行為と規模

表 景観形成重点地区、一般地域及び景観形成推進地区の規模

		建築物の新築等	工作物の新設等		開発行為	土石の堆積等
景観形成重点地区	深大寺通り 周辺地区	全ての行為	全ての行為		開発区域の面積 ≥500 m <sup>2</sup>	造成面積 ≥500 m <sup>2</sup>
	国分寺崖線 地区	高さ≥10m又は 延べ面積≥500 m <sup>2</sup>	下記以外の 工作物	高さ≥10m又は 築造面積≥1,000 m <sup>2</sup>	開発区域の面積 ≥500 m <sup>2</sup>	造成面積 ≥500 m <sup>2</sup>
			擁壁	全てのもの		
			墓園等	区域面積≥500 m <sup>2</sup>		
一般地域	景観形成推進地区	高さ≥20m又は 延べ面積≥3,000 m <sup>2</sup>	下記以外の 工作物	高さ≥20m又は 築造面積≥3,000 m <sup>2</sup>	開発区域の面積 ≥3,000 m <sup>2</sup>	—
擁壁			全てのもの			
					墓園等	

※詳細は、各地域・地区の規模を参照。

# 景観法に基づく届出状況(「駅」の景観形成推進地区)

「駅」の景観形成推進地区 (平成28～令和3年度時点)

項目	内訳	
届出種別	新築	8件
	修繕等	6件
	その他	3件 (店舗の変更に伴う外壁塗替え)
駅別	調布駅	12件
	国領駅	2件
	つつじヶ丘駅	1件
	仙川駅	1件
	京王多摩川駅	1件
用途別	店舗	8件
	店舗併用住宅	4件
	マンション	3件
	その他	2件

調布駅周辺で、商業施設内のテナントの入替による(模様替え)届出が多い

# 景観法に基づく届出状況(「駅」の景観形成推進地区)

年度	件数
H28	2件
H29	2件
H30	3件
R1	6件
R2	2件
R3	2件
計	17件

## 調布駅周辺の状況

- 京王線の地下化による跡地，地上部の整備が進み，鉄道上部の商業施設3棟が完成（平成29年9月）
- 調布駅周辺市街地再開発事業が完了（平成29年10月）
- 調布駅周辺の景観形成推進地区に隣接した地区に延べ面積3,000㎡以上のマンション新築の届出が7件
- 調布駅周辺地区計画の範囲で高さ10m以上20m以下，延床面積500㎡以上，3,000㎡以下の新築建物がこの7年間に10件建設されている



トリエA館



南口東地区市街地再開発



調布アミックスビル

# 景観法に基づく届出状況(「駅」の景観形成推進地区)

## 調布駅周辺の状況



ガーラ調布ビル



小島町プロジェクト



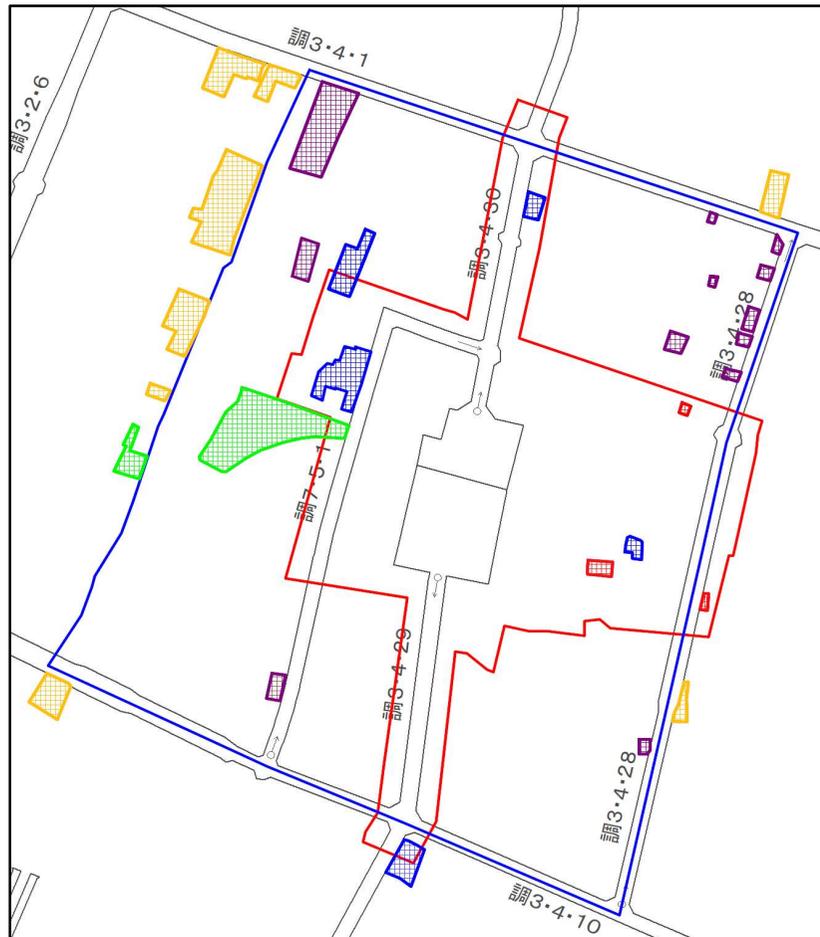
小島町計画



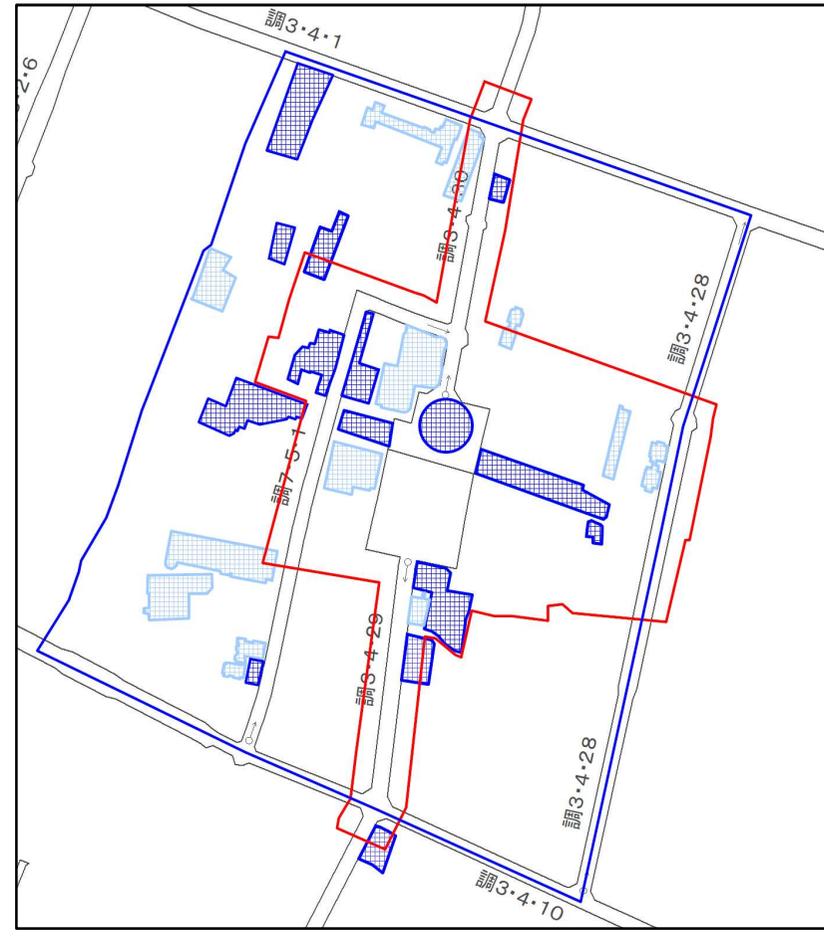
小島町1丁目計画

# 「調布駅」の景観形成推進地区における開発・建築行為, 景観届出

建築・開発届出位置図  
(赤線内9・青線内12・他10)



景観届出位置図  
(青線内 新設15・修繕12)



② 市民への意識啓発，活動支援  
～参加と協働による景観まちづくり～

# 令和元年度の市民検討会

## 駅周辺の景観とは？

駅前に立つと、駅舎や線路、駅前広場だけでなく、周辺の店舗やマンション、ビルなどの建物、広告物などさまざまなものが見えます。

また、駅を利用したり、周辺に住んでいる『人』や、目に見えない『歴史』や『文化』も景観をつくりだしている要素のひとつです。



## 『駅周辺の景観の考えかた』



当初は…

電車に乗る場所

もともと『駅』の役割は、電車に乗る場所、電車を待つ場所。電車を待つ時間を過ごすため、駅前に広場がつけられました。

本数が増加すると…

乗り換える場所

電車がたくさん走ると、駅は電車からバス、車、自転車など、ほかの交通手段に乗り換える場所になりました。

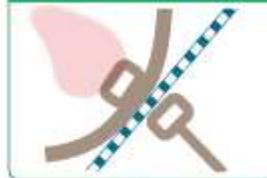
現在では…

いろいろな目的がある場所

電車に乗るだけでなく、『買い物に行く場所』『遊びに行く場所』になり、駅周辺がまちのランドマークになりました。

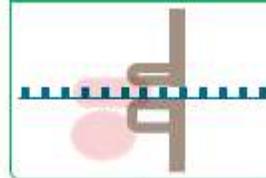
## 駅とまちとの関係を考えてみよう

狭山市駅



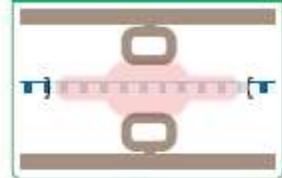
- 線路と道路が並行しており、駅が立体的に乗り越えて作られている
- 駅前広場の先にまちが広がっている

武蔵小金井駅



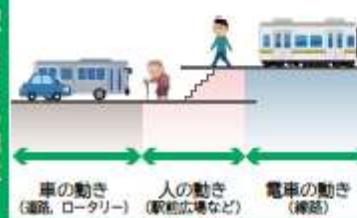
- 線路と道路が直行しており、広場がその横に作られている
- 線路沿いや広場から少し離れたところにまちがある

調布駅



- 道路が駅と離れたところにあり、線路と交差する道路がない
- 線路が地下化し、地上部が一体の広場になっている

駅とまちの構造



- 電車と車を乗り換えるため、道路や線路、歩行者が交差している
- 多くの駅では、ペDESTリアンデッキなどで歩行者の動きを立体にすることで、動線の交差を解消している
- 調布駅では、線路が地下にあることで南北の広場が一体になっており、珍しい構造をしている



# 令和2年度の市民検討会

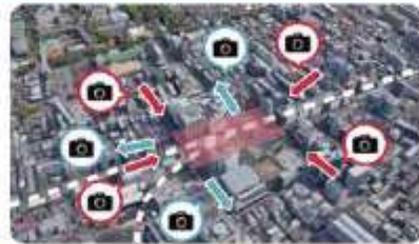
## 駅の写真を撮ってみよう



### 撮影のポイント

- ① 駅に向かって歩いた時
- ② 駅から目的地に向かう時

- ・気になったところ
- ・その駅らしいと思ったところ
- ・駅の特徴だと思うところ を撮影してみましょう



## 駅の新しい見かたをを考えてみよう

### 乗り換える場所

駅は電車に乗る・降りるだけでなく、電車から電車やバス、車、徒歩など、『乗り換え』を行う場所でもあります。



### 人が集まる場所

駅に留まる人が増えると、駅は人が集まって時間を過ごす場所となり、お店が増えたり、バスのロータリーができてたりします。



### 留まる場所

乗り換えの時間がいったり、待ち時間ができたりすると、駅は『留まる』場所にもなります。



### 出会いと交歓の場所

人が集まる、色々なものがあることによってできることも、駅の役割のひとつです。新たな『出会い』や『交歓』の場所としての駅の周辺が賑わっていくかもしれません。



駅に向かって



調布駅

これほどの広さを持つ駅前広場はなかなかない。環境やグリーンインフラにも配慮した、水と緑のまちの顔として次の世代に受け渡したい。

駅から目的地



旧京王線跡地跡地の「てつみち」。名称が6000！路線の歴史を残しつつ、子どもや老人の憩いの場になっているのがステキ。

駅に向かって



飛田給駅

両側のボールが FC 東京のカラーに。飛田給駅のイメージカラーは「赤青」！？ブロック舗装は、景観、安全、スピード出しすぎ防止にもなり好印象。

駅から目的地



駅から味スタ、武蔵野の森総合スポーツプラザへの道は、真っすぐで立派な道。並木道が「表参道」のように導いてくれます。

駅に向かって



つつじヶ丘駅

「木」をイメージした駅舎が特徴。駅の吹き抜けは開放感があり、中に入るとステキ！

駅から目的地



国領駅

駅に面した商業施設なのに、建物周りには自転車がたくさん。店の前に開かれたオープンスペースがあると、気持ち良い空間になるのでは？

# 昨年度の市民検討会のおさらい

## 実施テーマ「駅まわりの魅力」を発見しよう！

市内に立地する9つの鉄道駅の「駅まわり」で“これだと感じる”場面とその理由を考え、各駅が違った表情を持つ「駅まわり」の魅力を発見する。

「駅まわり」とは

駅舎や駅前広場はもちろんのこと、そばの商店街や1本入った道などを駅前以外の駅の周辺を含めたエリアを「駅まわり」と捉えています。

### 検討会メンバーへの提出依頼(課題内容)

- ① 駅名 (担当した駅名)
- ② 魅力と思った理由 (説明文)
- ③ 撮影場所(分かる範囲で構いません。)
- ④ 撮影した写真(1駅1枚を厳守)
- ⑤ 魅力を感じさせるキーワード・テーマなど

# 令和3年度の市民検討会活動の成果について

## 仙川駅

駅の現況	京王本線・京王相模原線（54 駅）乗降客数ランキング（2020 年度）：9 位				
路	京王線（半地下駅）	列車種別	各駅・快速・区間急行	乗降客数	57,764 人 / 日 （2020 年度）
線	京王相模原線		・急行・準特急・特急		

※京王線HPを基に作成

### キーワード

駅前の大きな桜  
若い人が多い街  
狭い商店街  
学校が多いまち  
歩行者中心のみち  
活気ある  
個性ある低層の店舗群

- 桐朋学園，白百合女子大学，都立神代高校など多くの学生が利用する駅。
- 昭和の時代から駅周りに沢山の商店が並び，大規模な商店街が構成されている。
- 駅前広場，桜の木，駅前のベンチ，駅に近接した商店街など，駅から比較的近い場所に「魅力」が集中している。
- 学生を中心とした若い人の利用も多く活気がある。
- 車の通れない歩行者中心の道沿いに商店街が構成され，多くの買物客でにぎわっている。
- 駅から離れるにつれて，学校や安藤ストリート，大規模商業施設などの建物が建ち，仙川の「魅力」となっている。



# 令和3年度の市民検討会活動の成果について

## 柴崎駅

駅の現況	京王本線・京王相模原線（54 駅）乗降客数ランキング（2020 年度）：35 位				
路	京王線（地上駅）	列車種別	各駅・快速・区間急行 ・急行・準特急・特急	乗降客数	13,833 人 / 日 (2020 年度)
線	京王相模原線				

※京王線HPを基に作成

### キーワード

なつかしさ  
線路・踏切  
駅との近さ  
安心感  
不便さ  
まちにあった変化  
歴史

○昭和の時代から変わらない駅舎，数段階段を上がればすぐにホームに出られるのが「魅力」。

○改札のすぐ傍にお店がある。踏切の音を聞きながら遮断機が開くのを待つ風景を感じられるのが「魅力」のひとつ。

○駅近くの商店街と住宅が隣接し，混在する街に帰ると安心感が生まれる。

○人が集まるお店ができていました。地元の人々に愛されながらゆっくり変化するまちが「魅力」。



# 令和3年度の市民検討会活動の成果について

## 調布駅

駅の現況		京王本線・京王相模原線（54 駅）乗降客数ランキング（2020 年度）：2 位	
路線	京王線（地下駅） 京王相模原線（地下駅）	列車種別	各駅・快速・区間急行 ・急行・準特急・特急
		乗降客数	90,372 人 / 日 （2020 年度）

※京王線HPを基に作成

### キーワード

調布市の玄関口  
新しい駅前広場  
新旧の高層建物  
開けた空・夕陽  
来訪者・住民  
街路樹・植栽  
駅の変革と歴史

- 調布市の玄関口として通勤・通学，買物客等多くの乗降客に利用されるとともに，京王線の地下化，駅周辺の再開発等に伴い，駅周辺の整備が進み，新たな調布市の玄関としての「魅力」となっている。
- 京王線の地下化や駅前広場の整備に伴い，開けた空や，夕陽の見える風景が，「魅力」です。
- 駅周辺は，再開発や道路の整備に伴い，街路樹や植栽が増え，季節を感じる花々が飾られるガーデン等もあり，街を「魅力的」に彩っている。
- 週末にはフリーマーケット等が開催され，多くの人でにぎわい駅前の「魅力」となっている。



# 令和3年度の市民検討会活動の成果について

## 飛田給駅

駅の現況		京王本線・京王相模原線（54 駅）乗降客数ランキング（2020 年度）：30 位			
路	京王線（橋上駅）	列車種別	各駅・快速・区間急行 ・急行・準特急・特急	乗降客数	16,424 人 / 日 (2020 年度)
線	京王相模原線				

※京王線HPを基に作成

### キーワード

イベント（スポーツ等）

駅周辺の発展

駅舎デザイン

大型集客施設

非日常の一コマ

安心感

四季と広い空

○イベント開催時には駅構内の看板（サイン）が変わり、会場に向かう人々を盛り上げる雰囲気「魅力」。

○駅からスタジアムに向かう通りは桜並木が続き、駅前広場は季節ごとに花壇の花が植え替えられている。

○グッドデザイン賞を受賞した近未来的なデザインの駅舎、駅からスタジアムまでの歩道はバリアフリーを念頭に誰もが移動しやすく作られているのが「魅力」。

○駅の南口に隣接した畑や広い空が見渡せるほっとする風景がある。



# 令和3年度の市民検討会活動の成果について

## 京王多摩川駅

駅の現況		京王本線・京王相模原線（54 駅）乗降客数ランキング（2020 年度）：37 位			
路	京王線	列車種別	各駅・快速・区間急行 ・急行・準特急・特急	乗降客数	12,409 人 / 日 (2020 年度)
線	京王相模原線（高架駅）				

※京王線HPを基に作成

### キーワード

多摩川  
河川敷  
高架の橋上駅  
静と動  
野球場・テニスコート  
東京オーヴァル京王閣  
鉄橋と電車

○市内唯一の高架駅で多摩川に隣接していることから、川・鉄橋・電車をセットで見られる。

○京王閣や多摩川河川敷でイベントが行われる時は、多くの来訪者が訪れるが、普段はのどかで平穏な雰囲気風景が「魅力」のひとつ。

○駅周辺では開発計画が進められており、今後「魅力的」なまちになることが期待されている。

○多摩川が近くにあることで、水の空気感を感じることができるのも「魅力」となっている。



# 令和4年度の市民検討会の活動

日時	令和4年10月28日（金） 19：00～20：50
場所	文化会館たづくり 9階 研修室
参加者	5名（市民検討会メンバー） その他 景観審議会委員 1名 慶應義塾大学石川研究室 3名（学生）

## ○提出シートについて

- ・ 駅周辺の特徴的なもの、かつインパクトのある場所に魅力を感じた。
- ・ ごちゃごちゃした場所より、のんびりとした空間が好きなのでそのようなイメージのある風景に魅力を感じた。
- ・ コロナ禍であったことも関係しているのか、建物などのある風景より、人の活動が感じられる風景、人が主役となる景観に魅力を感じた。
- ・ 商店街などをはじめとした人の活動が想像できるような沿道の風景に魅力を感じた。
- ・ 良いところを見つけることも必要だが、こういう「まち」にしたいという視点も大事になると思った。
- ・ 駅は住民をはじめ来訪者など様々な方が利用するため、その「まち」の玄関口（顔）、向かい入れる場として満たされているものが良い駅だと感じながら魅力を探した。

# 令和4年度の市民検討会の活動

## ○キーワードの整理等について

- ・帰宅時間の問題からわからなかったが、夕陽があらたな魅力となっていると知ることができた良かった。
- ・調布駅の駅前広場が開けたことはよかったが、工事中の影響のあるのか上部からみた風景が固い印象があるので、柔らかさもある方が良いと感じた。
- ・キーワードの分類方法で「人（集い）」とあるが、各駅の個性を表現するとなると、「人（活動）」という視点も重要になるのではないか。
- ・魅力として商店街も多く挙げられているが、地元の商店街に貢献できていないと感じた。その点を発見できたことはよかった。
- ・調布は福祉のまちとも呼ばれているので、駅前に福祉センターがあることも重要であると思う。
- ・調布駅については、駅前にある市内で一番大きな文化施設であるグリーンホールについては大事にキーワードに当たるのではないか。
- ・駅前は街の顔になるので、誇れる駅前にしていくため、検討会などで検討していくことも重要になる。

## ○その他

- ・今後、鉄道敷地跡地が変化していくにあたり、跡地に面する建物等は、これまで裏であった部分が表になることも考えられる。その面の表情を創る際には景観的な視点が必要になると思う。
- ・鉄道跡地の景観を考えていくなかで、建物の装いもあるが、人の活動を意識した形で考えてもらいたい。
- ・鉄道跡地については、緑道等に整備されるのであれば憩いという視点と同時に、防災面も考慮しつつ、無電柱化についても検討してもらいたい。

# 令和4年度の市民検討会の活動

## 石川先生の講評（感想①）

○京王線の地下化がもたらした恩恵かもしれないが、夕陽の見える風景は新たな魅力となると感じた。地下化した3駅の特徴として出口が3駅とも西向きである。特に調布駅は西側に開けた部分があり、より印象的な景観であると思う。そういった風景を維持（無電柱化や高層の建物を建てないなど）していくために、景観としてできることをしていくことも面白いアイデアになると感じた。

○「人が集まる」、「人がにぎわう」、「人が休む」、「人が待つ」、「人がいない」「人にやさしい」など、人の様々な活動が駅前の景観を作り出していることに魅力を感じていることが確認できた。

○西調布駅のホームと高速道路が同時に見える関係性は、国分寺崖線の上と下を擁することから起こる景観である。調布の地形を理解することが調布の景観をよくすることにつながるのかもしれない。

# 令和4年度の市民検討会の活動

## 石川先生の講評（感想②）

- 駅というのは止まってみるものではなく、利用して見るものになるので。「駅から出ると」「新宿方面から来ると」などの「動き」という視点も、駅周辺の魅力発見のための切り口としては大切であると思う。
- 仙川駅前のベンチは丸い形状で、外に向かったデザインで、関係ない人同士が肩を寄せ合って座れるようになっている。こういったデザインも景観の重要な要素になるので、今後、鉄道跡地の緑道整備の際もそういった細かい点の作りこみも良好な景観づくりにおいて大切になってくると思う。
- 調布駅のような大きな駅前広場では、上部からの風景とともに、地面レベルから見てもよい景観を育てていくことも大切だと感じた。

# 令和4年度の市民検討会の活動予定

## 第1回

R4  
10月

### 各駅の魅力や方向性をまとめよう！

検討会委員が昨年度発見した魅力をもとに、9駅の魅力や方向性について話し合う。

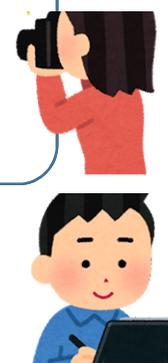


## 第2～3回

R5  
1月～3月

### 「中心拠点のまちなみ」について考えよう！

来街者など、外からの視点を通じて、中心となる拠点周辺のまちなみについて話し合う。



③ (次期)都市計画マスタープランの策定に向けた  
「景観分野」について

# 現行の調布市都市計画マスタープラン

- 調布市では、平成10年度に、令和2年度を目標年次とする現行の都市計画マスタープランを策定しました。
- 現行の都市計画マスタープランでは、以下の5つのまちづくりの理念と将来都市像を掲げ、まちづくりを推進してきました。
- 平成26年9月の改定時にも、この理念や基本的な考え方を継承しています。（目標年次を令和4年に変更）

## まちづくりの理念

- ①「“ほっとする”まちをつくる」
- ②「自然との共生を意識してまちをつくる」
- ③「循環型のまちをつくる」
- ④「人がつなぐ、つながりあうまちをつくる」
- ⑤「住み続けられるまちをつくる」

## 将来都市像

住み続けたい 緑につつまれるまち 調布

# 現行の調布市都市計画マスタープラン

## 【主な構成】

### 《まちづくりの目標》

「まちづくりの理念」 「将来都市像」  
「将来都市構造」 「土地利用の方針」

### 《まちづくりの基本方針（分野別）》

「交通」 「環境」 「福祉」 「防災」  
「住環境」 「景観」 「地域活性化」

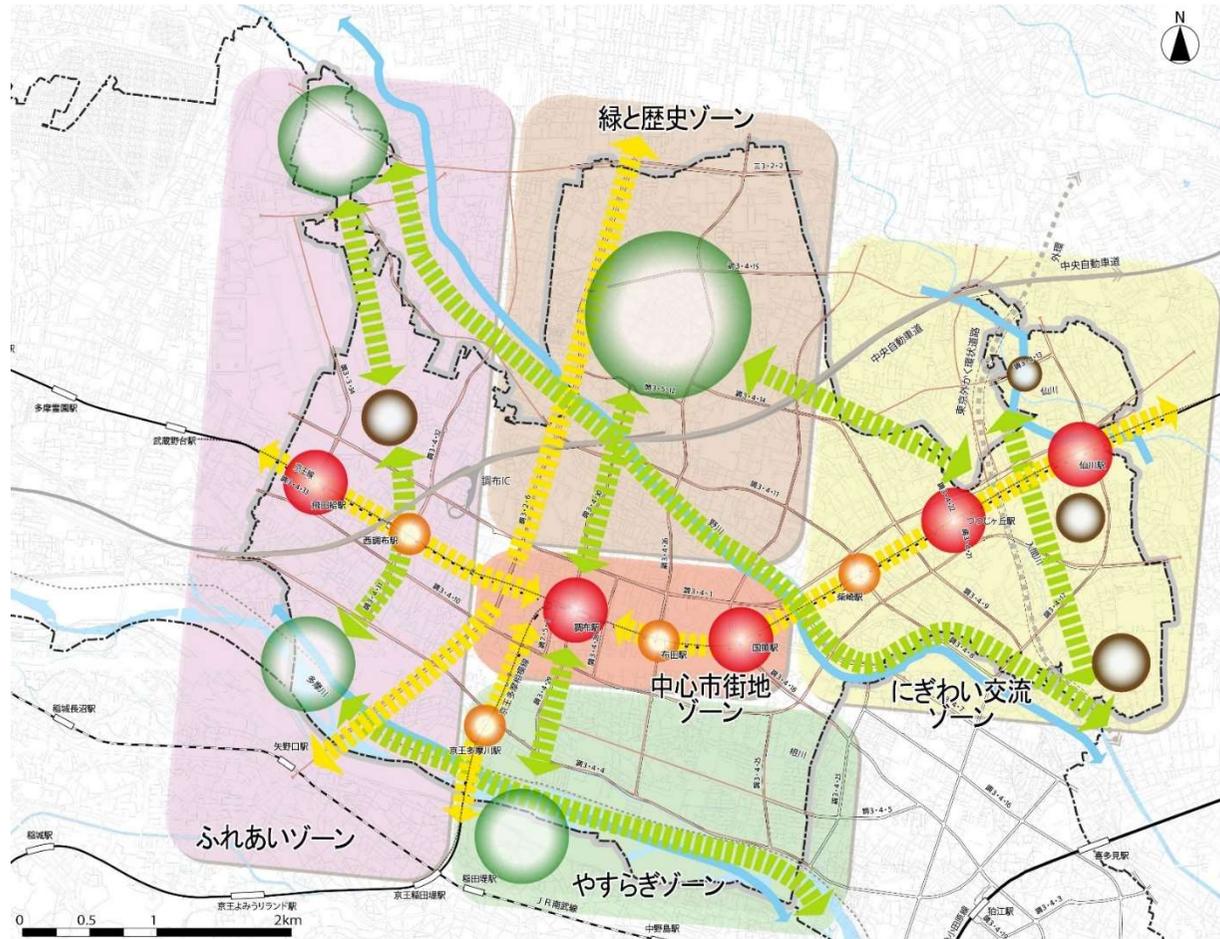
### 《地域別の整備方針》

「東部地域」 「西部地域」 「南部地域」  
「北部地域」 「特定市街地」

# 現行の調布市都市計画マスタープラン

## 【都市構造図】

- まちづくりの理念や将来像を実現するため、都市の骨格を形成する拠点や軸を、以下の将来都市構造図に示しています。



## 現行の調布市都市計画マスタープラン／景観分野について

### 【現行計画における基本的な方針】

方針①：武蔵野の限りある水と緑の環境を積極的に守り育て、調布らしさを発揮します。

方針②：都市景観に配慮し、うるおいのあるまちづくりを進めます。

方針③：地域における景観意識の醸成を図ります。

# 現行の調布市都市計画マスタープラン／景観分野について

## 「景観」に関する現況・主な取組と成果

### 【深大寺周辺における取組】

- ・景観計画 深大寺通り周辺景観形成重点地区
- ・街づくり協定 深大寺通り周辺地区
- ・修景整備助成 深大寺通り,寺前通り,参道の沿道
- ・特別用途地区 深大寺通り沿道地区
- ・街なみ環境整備 深大寺地区
- ・公共サイン整備 深大寺地区
- ・特別緑地保全地区 深大寺元町



修景のイメージ

### 景観計画

「道」の景観形成推進地区  
(甲州街道,武蔵境通り,鶴川街道,三鷹通り,品川通り,旧甲州街道等の沿道地区)

地下化した駅の駅前広場整備  
景観に配慮した整備,検討

### 景観計画

「駅」の景観形成推進地区  
(市内鉄道9駅を中心とした周辺地区)

### 景観計画

一般地域  
(景観形成重点地区,景観形成推進地区を除く地域)

### 景観計画

「水」の景観形成推進地区(多摩川・野川の沿川)

### 景観計画

国分寺崖線景観形成重点地区

### 特別緑地保全地区

仙川崖線及びみんなの森

### 景観協定

緑が丘二丁目地区

### 景観協定

調布市入間町地区“プラウドシーズン成城学園前 庭園の街”

### 景観計画

「農」の景観形成推進地区  
(佐須町・深大寺南町周辺地区,染地・布田周辺地区)

# 現行の調布市都市計画マスタープラン／景観分野について

## 【次期計画策定の背景・趣旨】

### ○計画の見直し時期の到来

→現行計画の策定から22年を経過し目標年次の令和4年度を迎える。

### ○変化する社会情勢への対応

→少子高齢・人口減少社会への対応

→頻発・激甚化する自然災害への対応

→コロナ禍における新しい都市づくりへの対応

→カーボンニュートラル社会への移行

→デジタル化への対応 など



現行計画の理念、将来像、目標、方針等が、社会環境の変化に対応できているかを検証し、**令和5年度8月を目途に次期都市計画マスタープランを策定する予定**です。

## 現行の調布市都市計画マスタープラン／景観分野について

### 「調布市の今後のまちづくりに関するアンケート調査」 （景観該当部分抜粋）

調査概要	
調査目的	概ね20年後の将来を見据えたまちづくりの基本的な方針を示す「都市計画マスタープラン（立地適正化計画）」の策定に向け、今後のまちづくりに対する目標設定や施策検討へ反映するため、アンケート調査を実施
調査対象	調布市にお住まいの16歳以上の方の中から無作為で抽出した3,000人を対象に調査を実施
調査期間	令和4年5月10日から5月23日まで
調査方法	調査票へ御記入もしくはGoogle Formsより回答
回答結果	1,037名（回収率 34.6%）

# 現行の調布市都市計画マスタープラン／景観分野について

## 「調布市の今後のまちづくりに関するアンケート調査」 (景観該当部分抜粋)

景観	23	武蔵野の面影を残す自然環境を生かした景観について (貴重な崖線風景の保全, 河川などの自然景観の保全 等)
	24	歴史的・文化的資源を生かした景観について (地域の歴史資源を生かした景観形成 等)
	25	良好な街並み景観について (地区の特性に合わせた建築物や屋外広告物のルールづくり, 無電柱化の整備 等)
	26	駅周辺の都市景観について (調布駅などの鉄道駅周辺の賑わい・甲州街道をはじめとする沿道景観 等)

問 15 「景観」について、重要だと思う取組をお答えください。(2つまでに○印)

1. 人々の交流を促す憩いの空間を創出する
2. ゆとりを感じられる連続的な歩行空間を創出する
3. 駅, 駅前広場等からの見え方を意識し, 周辺建築物と調和を図る
4. 建築物の低層部は, 歩行者の視線に配慮した連続性のあるにぎわいを創出する
5. 崖線の緑と湧水を水源とする魅力ある里山風景の形成
6. 積極的な緑化により, うるおいの感じられる街並みを形成する
7. 広告・看板などの大きさや設置場所など, 見る側の視点を考えた工夫を行う
8. モニターやディスプレイなどを用いた映像広告の実施
9. 照明, ライトアップ等による夜間照明の実施
10. その他 ( )

問 16 「景観」について、今後、駅及び駅周辺の良好な街並み景観に向けたまちづくりを進めるにあたり、特に重要だと思う取組をお答えください。(1つに○印)

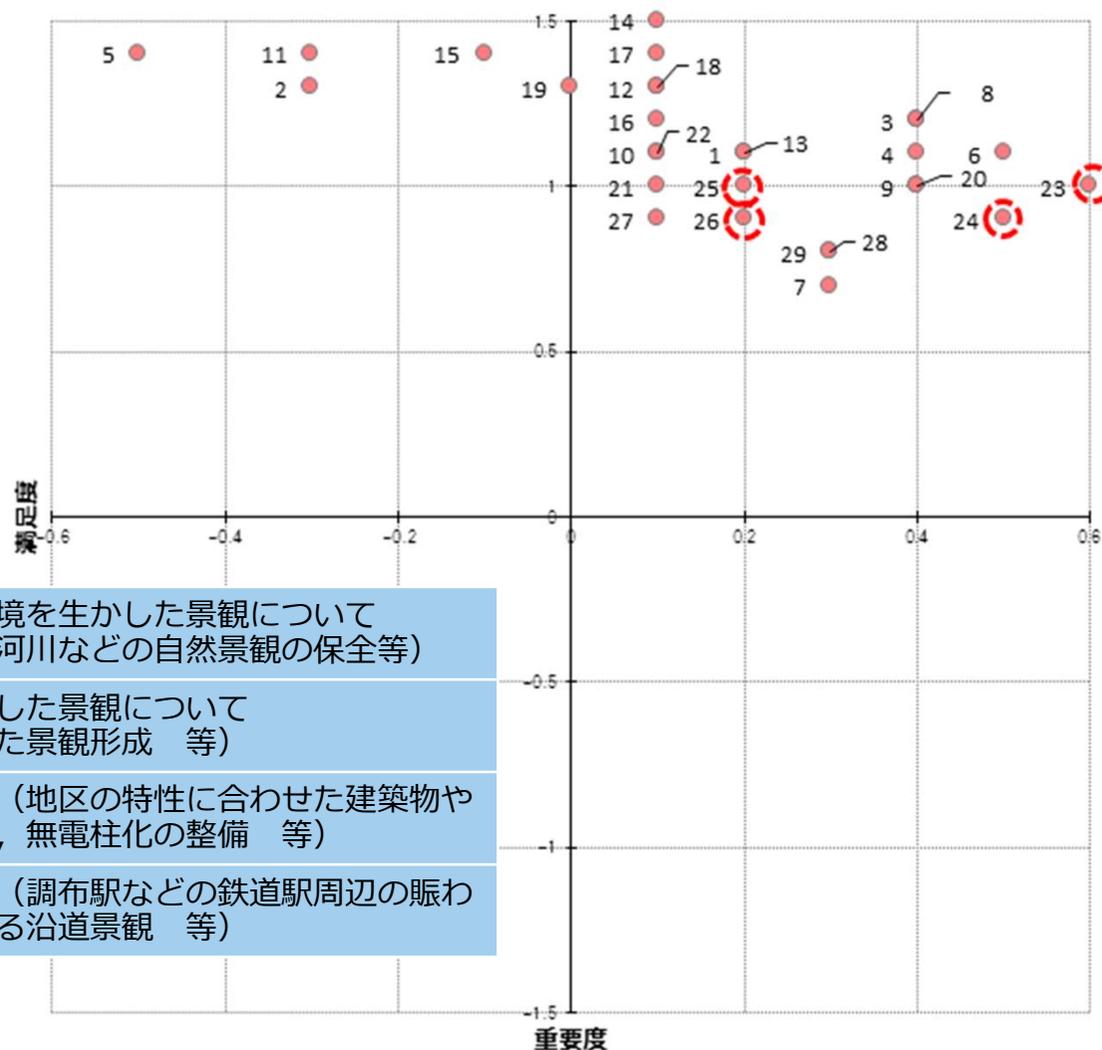
1. 市内各駅の特徴を踏まえた駅ごとの景観形成を意識した景観まちづくり
2. 駅の形状(地下駅, 橋上駅など)や駅周辺の整備状況を考慮した景観まちづくり
3. 居住者, 利用者の状況や各駅の歴史・特性を生かした景観まちづくり
4. その他 ( )

# 現行の調布市都市計画マスタープラン／景観分野について

## 「調布市の今後のまちづくりに関するアンケート調査」 (景観該当部分抜粋)

問7

現在都市計画マスタープランに掲げる7つの分野において、市が取り組んでいるまちづくりの「満足度」と「重要度」についてお伺いします。

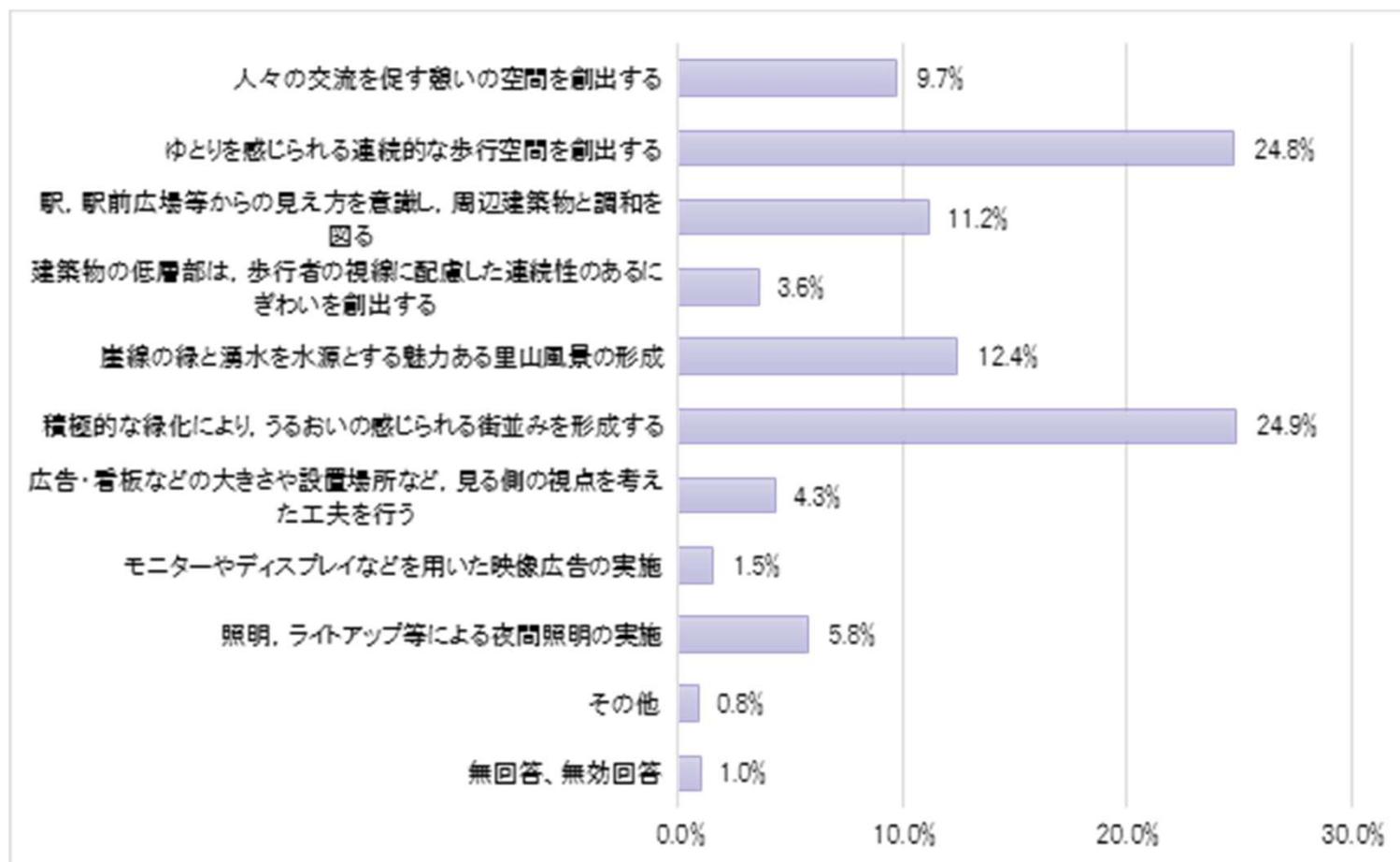


景観	番号	内容
景観	23	武蔵野の面影を残す自然環境を生かした景観について (貴重な崖線風景の保全, 河川などの自然景観の保全等)
	24	歴史的・文化的資源を生かした景観について (地域の歴史資源を生かした景観形成 等)
	25	良好な街並み景観について (地区の特性に合わせた建築物や屋外広告物のルールづくり, 無電柱化の整備 等)
	26	駅周辺の都市景観について (調布駅などの鉄道駅周辺の賑わい・甲州街道をはじめとする沿道景観 等)

## 現行の調布市都市計画マスタープラン／景観分野について

### 「調布市の今後のまちづくりに関するアンケート調査」（景観該当部分抜粋）

問15：「景観」について重要だと思う取組をお答えください。  
（複数回答／回答数：1903件）



## 現行の調布市都市計画マスタープラン／景観分野について

### 「調布市の今後のまちづくりに関するアンケート調査」（景観該当部分抜粋）

問16：「景観」について、今後、駅及び駅周辺の良い街並み景観に向けたまちづくりを進めるにあたり、特に重要だと思う取組をお答えください。（回答数：1037件）

